

≡ プレスリリース ≡ 報道関係者各位

2018年2月20日
株式会社スクウェイブ
社長室 広報担当

IT可視化ベンチマークサービス 「SLR®(サービス・レベル・レーティング)」 参加企業が100社を突破

株式会社スクウェイブ(所在地:東京都港区、代表取締役:黒須豊)が提供するIT可視化ベンチマークサービス「SLR(サービス・レベル・レーティング)」の参加企業が、2月に100社を超えました。SLRの参加企業は、これまで大企業が中心でしたが、今後は中堅企業への展開を図り、2020年までに200社超の達成を目指します。

※SLR参加企業一覧 → <https://www.k2wave.com/slr/certificate.html>

SLRは国内で初めて評価指標と比較対象(企業名)を開示した、IT各分野におけるコストと業務レベルに関するベンチマーク診断サービスです。参加企業自らが、組織内のITの性能(効率性)を判断できます。ユーザー/ベンダーを問わず、多くの著名な企業並びに地方自治体(県・市・区など)が参加しており、事実上の業界標準となっています。

【SLR 4つの特徴】

比較対象(企業名)を公開

比較対象が明確になるよう、SLRに参加している企業や団体名を全て公開しています。(個別データは開示しません)

指標・判断基準を公開

評価をどのように行うのか、指標と判断基準を公開しています。ベンチマークの結果を見て、お客様が自らITコストの妥当性を判断することが可能です。

同時期のデータのみ活用

進化の早いITに対応したベンチマークを実現するには、同時期のデータで比較することが重要です。

コストと業務レベルの相関を考慮

コストだけの比較ではなく業務レベル(業務の品質および成熟度)との相関を考慮してコストの妥当性を診断します。業務レベルを加味して判断すると、経営の方針によって判断の内容は違ったものになります。

参加企業(=データ数)が着々と増加しているSLRサービスに、今後ご期待ください。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社スクウェイブ 社長室 広報担当 E-mail: reception@k2wave.com

※本プレスリリース記載の情報は発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

以上